

もくじ

議会だより

第105号

2019 令和元年10月23日

9月定例会

もくじ

平成30年度決算認定	2
平成30年度主な事業	4
決算審査特別委員会	6
9月定例会補正予算等	8
補正予算質疑	9
全員協議会	10
一般質問(4人が町政をただす)	12
行政視察報告	17
みんなの声	18

議会だより
QRコード



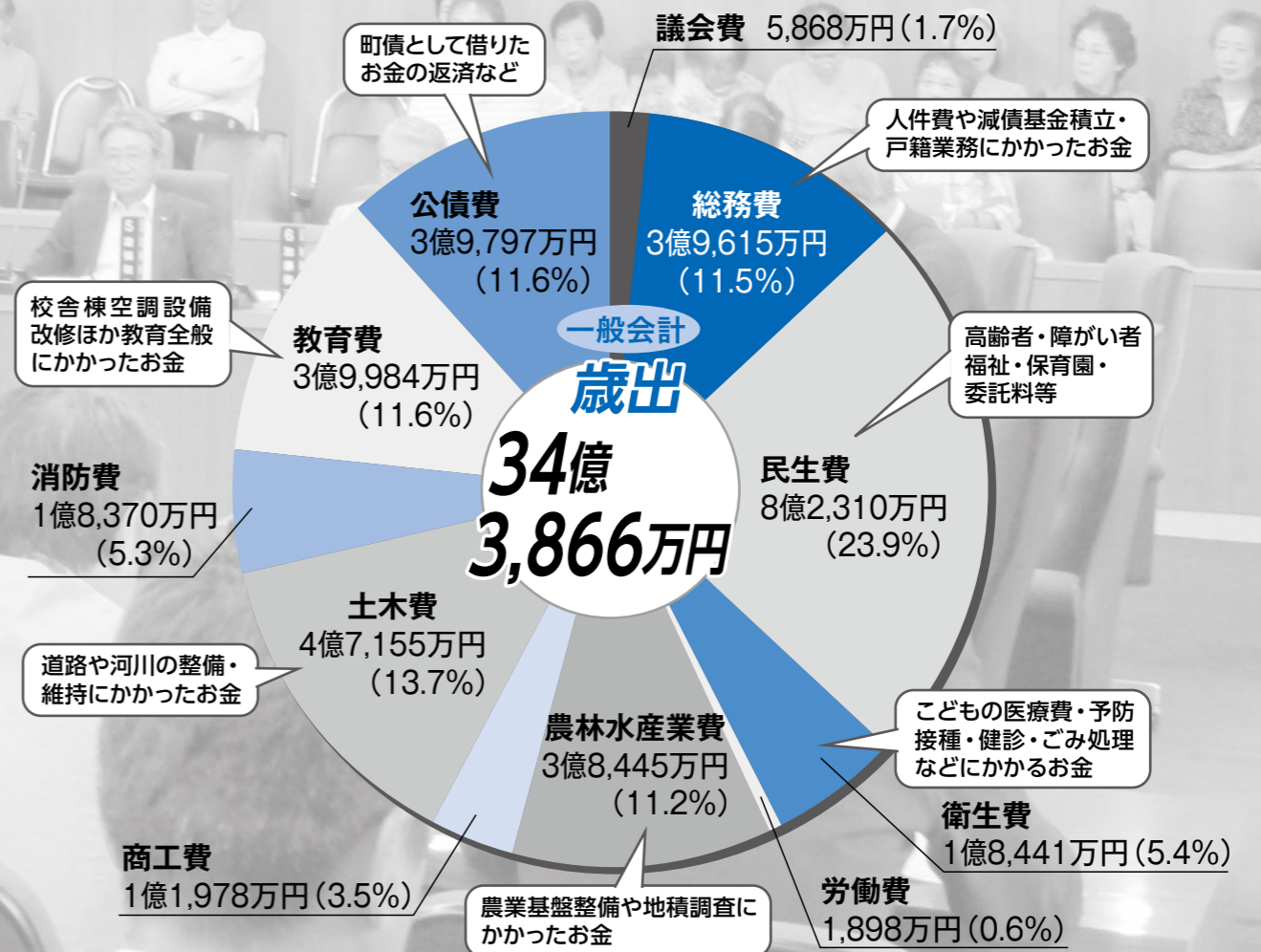
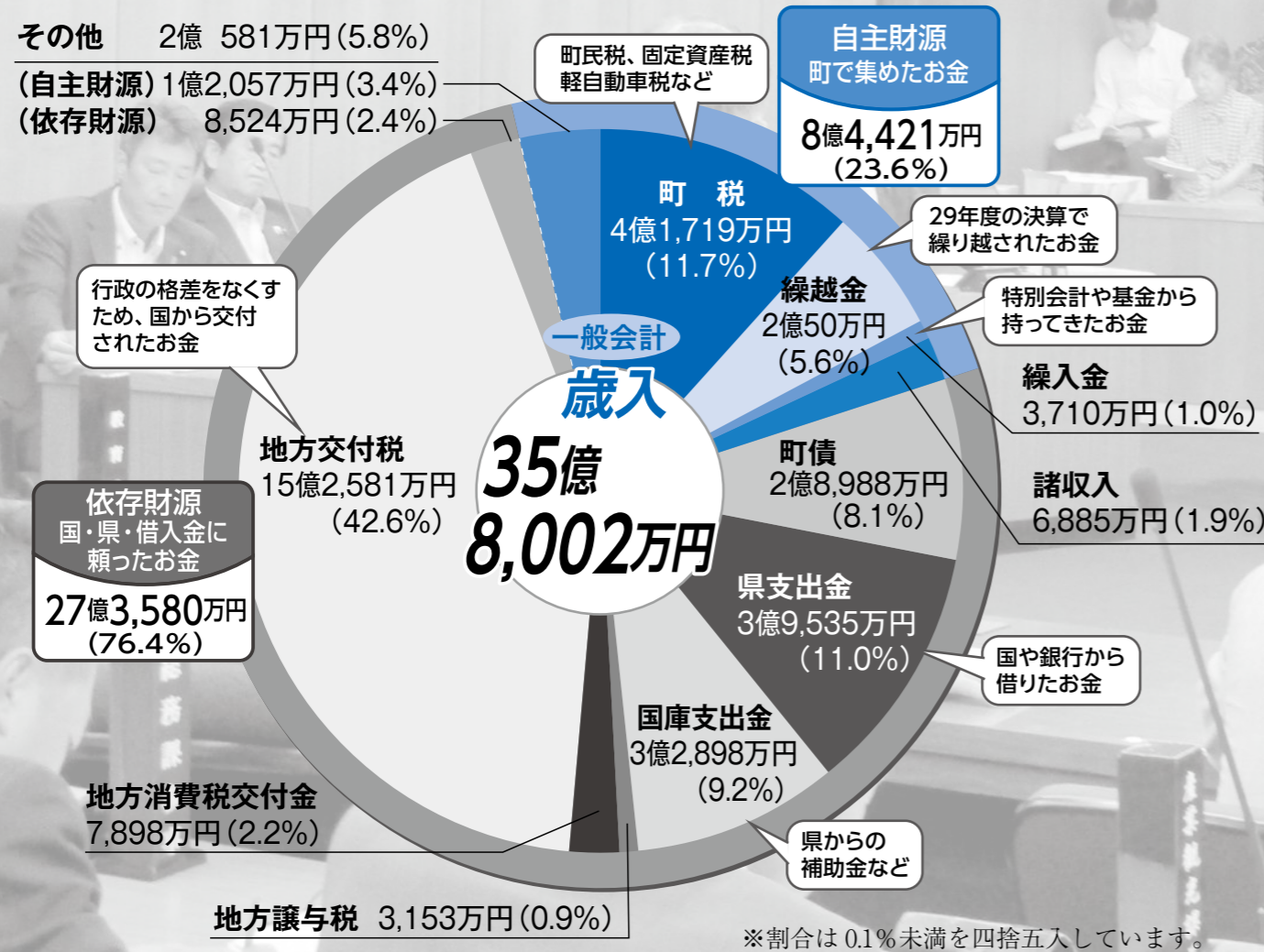
防災訓練

平成30年度決算認定

一般会計並びに8特別会計の決算は

9月6日から13日まで8日間の日程で定例会が行なわれました。

歳入 一般会計 35億8,002万円 特別会計 18億2,600万円 **総額** 54億 602万円 (前年比 7億8,230万円減)
歳出 一般会計 34億3,866万円 特別会計 17億3,692万円 **総額** 51億7,558万円 (前年比 6億9,188万円減)

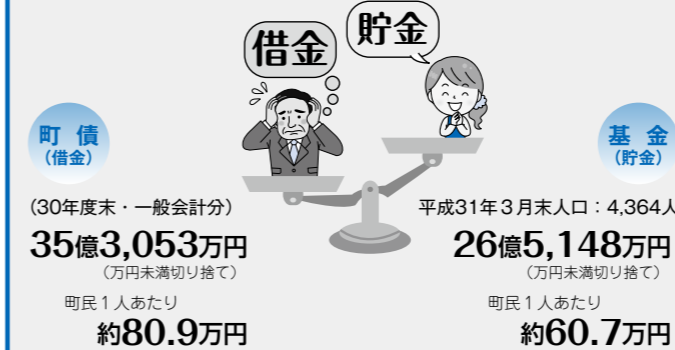


各会計の決算状況

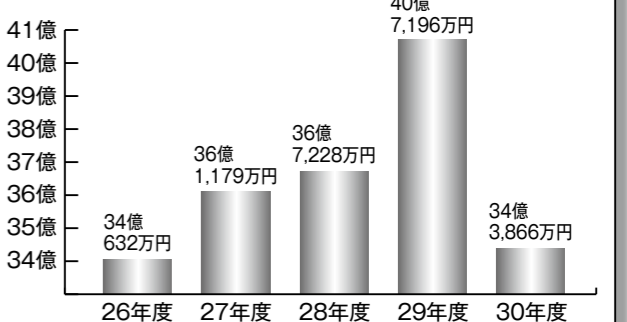
会計名	決算		差引残高
	歳入	歳出	
一般会計	35億8,002万円	34億3,866万円	1億4,136万円
特別会計			
国民健康保険	5億8,541万円	5億5,135万円	3,406万円
介護保険	6億7,453万円	6億3,697万円	3,756万円
後期高齢者	6,079万円	6,027万円	52万円
簡易水道	1億7,386万円	1億6,732万円	654万円
特定地域生活排水	1,411万円	1,282万円	129万円
農業集落排水	1億2,259万円	1億1,925万円	334万円
下水道	1億5,885万円	1億5,526万円	359万円
宅地造成	3,583万円	3,366万円	217万円
合計	54億 602万円	51億7,558万円	2億3,044万円

金額は千円以下を切り捨てて表示のため合計金額は一致しません

町債(借金)と基金(貯金)の状況



5年間の一般会計歳出決算の推移



平成30年度 一般会計

生活環境の改善を考える！

主な施策をピックアップ！！

～主な事業を紹介します～

総務課関係

- ・常備消防事務委託 1億704万円 …… 消防救急体制の維持
- ・消防詰所兼資機材倉庫建築工事 1,512万円 …… 消防団の体制整備（第2分団沢田地内）
- ・防火水槽設置工事 647万円 …… 消防水利の確保（稲川地内）
- ・減債基金積立 4,152万円 …… 町債の元利返還金返済の積立

町民課関係

- ・資源ごみ分別回収・処理委託 2,154万円 …… 生活環境の保全と公衆衛生の向上と適正処理
- ・一般ごみ収集運搬・処理委託 3,777万円 …… 同上
- ・ふるさと就職支援商品券利用助成金 658万円 …… 新規学卒者等に対し交付（受給者 55人）

保健福祉課関係

- ・高齢者福祉タクシー利用料助成事業 521万円 …… 高齢者へのタクシー券の支給（利用者 454人）
- ・子どもの医療費助成事業 904万円 …… 子どもの医療費の助成（0歳から高校卒業まで）
- ・定期予防接種事業 949万円 …… 予防接種法に基づく定期接種の実施
- ・健康増進事業 824万円 …… 18歳以上を対象に実施（健康相談、健康診査）

建設課関係

- ・除雪委託 684万円 …… 冬季道路・歩道の除雪（一斉出動 1回、部分出動 4回）
- ・町道維持修繕工事 1,284万円 …… 町道の修繕工事
- ・道路新設改良測量設計業務委託 4,263万円 …… 町道用地測量・設計業務委託
- ・道路新設改良舗装工事 1億4,979万円 …… 町道の新設・改良・舗装工事
- ・町新生活スーパー住まい取得リフォーム支援補助金 1,742万円 …… 若者・子育て世代の支援（18件）



消防詰所兼資機材倉庫建築
(沢田地内)



防火水槽設置
(稲川地内)



町道八王子2号線道路新設工事
(米田地内)



良寛たずね道園路整備
(良寛記念館)



ライスセンター火力乾燥機



汐風食堂



県営中山間地域総合整備事業
(八手地区)

産業観光課関係

- ・出雲崎地区ライスセンター
高品質米安定生産対策事業補助金 678万円 …… 火力乾燥機の更新に対する補助（補助率20%）
- ・県営中山間地域総合整備事業負担金 7,853万円 …… 八手地区の基盤整備事業に係る負担金
- ・多面的機能支払交付金 1,719万円 …… 農地等の保管理、共同活動施設の長寿命化（18組織）
- ・地籍調査業務委託 5,346万円 …… 地籍調査（沢田、藤巻）
- ・海浜クリーン作戦委託 1,007万円 …… 海岸漂着物の清掃
- ・汐風食堂実行委員会負担金 853万円 …… 汐風食堂実行委員会に対する負担金
- ・汐風ドリー夢カーニバル実行委員会負担金 504万円 …… 汐風ドリー夢カーニバル実行委員会に対する負担金
- ・出雲崎「美食」めぐり実行委員会負担金 403万円 …… 出雲崎「美食」めぐり実行委員会に対する負担金
- ・町船まつり協賛会負担金 586万円 …… 船まつり協賛会に対する負担金

教育課関係

- ・通学バス運行业務委託 1,936万円 …… 大型バス2台を配置し、登校時1回下校時2回運行 利用児童 69人
- ・中学校校舎棟キュービクル設備改修工事 1,453万円 …… 屋内型キュービクルの撤去・新設
- ・中学校校舎棟空調設備改修工事 5,529万円 …… 普通教室ほか13室の空調設備の改修
- ・良寛たずね道園路整備工事 2,346万円 …… 良寛記念館の駐車場から展示棟までのバリアフリー化

子ども未来室関係

- ・保育実施委託 1億3,618万円 …… 充実した保育の実施
- ・保育所等整備交付金 769万円 …… 小木之城保育園の外壁補修、照明LED化等
- ・児童手当 4,925万円 …… 児童手当支給（H30.2～H31.1まで 延4,388人/年）

ここが聞きたい!!



中野 勝正 委員長

決算審査特別委員会

平成30年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し、次の意見を付して全会一致で認定されました。

総務文教分科会

良寛記念館の整備が完了し、イベントやマスメディアを活用した結果、入館者数の回復がみられた。引き続き、イベントや広報活動に工夫するよう求める。

空家等実態調査の結果で、357戸の空き家があるため、所有者の合意を得て利活用するとともに、危険家屋については、早急な対応を求める。

滞納税の徴収にあたっては、新潟県徴収機構長岡班と協力し努力されている。引き続き、税負担の公平性を確保するために、地道な徴収努力をされることを求める。



ふるさと納税の寄附者は増えているので、引き続き、町の魅力をマスメディア等を通して、発信し続けることを求める。

社会産業分科会

不用額を圧縮し、財源を有効に活用されるよう求める。

福祉タクシー券の利用率は、58.8%であるが、更なる利用率の向上のため、PRに努められるよう求める。

海岸清掃に関しては地域協同作業として、地域を巻き込んで、環境美化を進められるよう求める。

出雲崎おけさは、「日本遺産」の構成要件であり、今後も継続して、保存に努められるよう求める。

米田遊歩道は、廃止する方向で検討を求める。

赤坂山地区農村公園は町有地であり、地域と協議の上、早急に有効活用の方向性を固められるよう求める。



駅前露店について、使用料と委託料を見直し、駅前の賑わいに活かすよう求める。

異常気象に対応できる排水路の整備や町道の改修を、早急に進められるよう求める。

下水道の統廃合について、今後の経費削減のためにも、計画的に進められるよう求める。

11月11日(月)から 4回の開催

「顔が見える議会」を目指して！

出まえ議会 を開催します。

出まえ議会は、議員が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。



主な内容

議員のなり手不足について

お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	開場時刻	担当委員
11月11日(月)	八手地区農村環境改善センター	午後7時	総務文教委員
11月12日(火)	立石公会堂	午後7時	社会産業委員
11月15日(金)	海岸公民館	午後7時	社会産業委員
11月18日(月)	神条公会堂	午後7時	総務文教委員

総務文教常任委員

中野 勝正 諸橋 和史
小黒 博泰 仙海 直樹
中川 正弘

社会産業常任委員

三輪 正 加藤 修三
安達 一雄 高桑 佳子
高橋 速円

どこの会場
でも参加
できます!!

議会のついでに(主なもの)

令和元年7月〜9月

7・5 全議員研修会(前期)

議会運営委員会

議会報特別委員会

(議会だより第104号)

議会報特別委員会

(議会だより第104号)

第7回全員協議会

↓詳細はp10

第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

議会運営委員会

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

決算審査特別委員会

↓詳細はp6

9月定例会2日目(一般質問)

↓詳細はp12

議会運営委員会

9月定例会最終日

第9回全員協議会

↓詳細はp11

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

行政視察(北海道福島町)

↓詳細はp17

26 行政視察(北海道福島町)

↓詳細はp17

26 行政視察(北海道福島町)

↓詳細はp17

24 議会報特別委員会

(議会だより第105号)

↓詳細はp11

13 議会運営委員会

9月定例会最終日

↓詳細はp12

12 9月定例会2日目(一般質問)

↓詳細はp12

10 決算審査特別委員会

↓詳細はp6

9 社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

決算審査特別委員会

↓詳細はp6

10 決算審査特別委員会

↓詳細はp6

9 社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105号)

社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

↓詳細はp10

30 議会運営委員会

↓詳細はp10、11

8・21 第8回全員協議会

↓詳細はp10、11

9・6 9月定例会招集日

↓詳細はp8

議会報特別委員会

(議会だより第105

令和元年度 9 月補正予算

海岸地区空き家対策を本格始動 町屋暮らし住宅改修工事・ふるさと交流住宅改修工事

会 計		補正額	補正後の予算額
一	般 会 計	3,587万円	33億7,631万円
特別会計	介護保険事業	3,814万円	7億 14万円
	簡易水道事業	400万円	2億 280万円
	下水道事業	300万円	1億6,112万円

主な歳入

- 固定資産税減年課税分追加 (エコパーク) 3,165万円
- 県農業農村整備事業分担金・補助金 (上中条地区) 560万円
- 空き家再生まちづくり支援事業補助金追加 100万円
- 保育対策総合支援事業費補助金・交付金追加 300万円
- 県がけ地近接等危険住宅移転事業事業費補助金減 △128万円
- 教育費寄附金 100万円
- 観光費寄附金 500万円
- 介護保険事業特別会計繰入金追加 590万円
- 前年度繰越金追加 981万円

主な歳出

- ※1・ふるさと交流住宅改修工事 200万円
- 保育対策総合支援事業費補助金 280万円
- 松本地区バス停建築工事 230万円
- 県上中条地区ため池改修工事 800万円
- 町農業用施設災害復旧事業補助金 120万円
- 町農地災害復旧事業補助金 80万円
- ※1・町屋暮らし住宅改修工事 790万円
- 街なみ環境整備工事 (アーチ門) 250万円
- ※2・中学校通学バス運行業務委託料 144万円
- 海岸地区茶の間事業関連経費 58万円

※1 ※2は教えて定例会で補足

陳情

陳情第11号

「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する陳情

審査結果

採択

陳情第12号

核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する陳情

審査結果

不採択

不採択理由

※日本政府は核拡散防止条約に署名し、核兵器保有国に対し、核を減らすように働きかけを行っている。米国をはじめとする核保有国およびドイツ、オーストラリアも不参加で、安全保障政策上、調印は望ましくないのではないか等の意見があり、全員一致で不採択すべきものと決定しました。

可決された意見書

発委第2号

学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書

議決結果

原案可決

ここが聞きたい!!

9月6日

補正予算質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

犯上の配慮はなされているか。

高桑議員 段差があるが、バリアフリー等安全面の配慮が必要ではないか。

建設課長 費用については、3坪程度で通常の木造建築より割高になる。松本集落から管理してもらうことになる。防犯上のことについては状況を見て対応し、バリアフリー仕様を検討する。

松本バス停建築工事

230万円

小黒議員 木造の坪単価で考えると、高すぎるのではないか。利用者は見込めるか。今後、集落で維持管理もしつかりやうで欲しい。

三輪議員 補助金は利用できないか。

加藤議員 密閉される場所となるが、カメラ等防

町屋暮らし住宅改修工事

790万円

加藤議員 入居者の希望で改修する、あるいは専門性の高い建築業者に任せる等の方法が良いのではないか。

建設課長 物件は空き家状態が長く、劣化が進んでいるため、早急に町で手を入れることが必要である。メーカーに任せるには、景観保持の目的が達せられないと考える。

良寛記念館集客事業委託料減

△100万円

中野議員 委託料の減で、来場者が減るようなことは避けてもらいたい。

教育課長 当初予算では具体的に事業が確定していなかったが、決定した事による減である。10月1日からライトアップ、金澤翔子さんの屏風等の展示を行う。

諸橋議員 大きく減額さ

がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金減

△512万円

建設課長 当初予算で見込んだ同規模の機械で、入札差金が出たもの。

加藤議員 台数が減ったのか、コストダウンか。

小型除雪車・ドーザー購入費減

△890万円

三輪議員 アーチ門等を追加する場所が、天領の里の駐車場から見えにくく、三軒横町の整備等と合わせて、2本の進入路を作るのは効果が低いのではないか。

街なみ環境整備工事

250万円

建設課長 年度末まで住宅の完成予定が対象となるので、9月で申請がないと間に合わないため、減額とした。対象は町の約7割程度であり、全町にチラシ、HP等で周知していきたい。

れているが、PR等が必要ではないか。

建設課長・総務課長 役場内の検討委員会で、観光客を町中に呼び込みたいとして計画した。海岸地区全体を見た中で、アクセスできる道路は複数あった方が良く考えて整備するもの。

教えて 定例会



※1

海岸地区の空き家対策を詳しく教えて

「ふるさと交流住宅」はご寄附いただいた旧内藤医院様宅を改修して、「舂太さん」と命名し、新潟大学他の学生が当町に関わるゼミの研究等の活動拠点として、また、地域おこし協力隊隊員の宿泊所として活用するんだ。「町屋暮らし住宅改修」は、当町にご寄附いただいた尼瀬のくるまや旅館様隣の旧伊藤様宅をリフォームし、町営住宅として貸し出す予定だよ。



※2

中学校の通学バスが、いよいよ開始されるね。

以前から保護者の要望があったね。学校から3キロ以上の距離の生徒が対象になるんだ。12月から、登校時は小学校のスクールバス1便3台に混乗し、下校時は中学生用に1便2台を運行するよ。



全員協議会

主なものから抜粋して掲載しています

第7回 7月17日

地域おこし協力隊員の現在の状況について

総務課長 6月～7月に、現地体験で5名の参加者があつた。このほかに、3名の問い合わせがあり、7月～8月に現地体験をもらう。宿泊は「舂太さん」を使用する。今年度は2名の協力隊員を採用したい。

中野議員 十日町市では、地域事前体験者には、1日4千円の日当支払いがあると聞くが、当町ではどうか。

総務課長 当町では交通費だけ支払いをしている。

「情報メール配信サービス」について

高橋議員 現在ほとんどの人が、携帯電話を所持している。町外にいる方に、町の災害関

連情報を配信して、共有できないか。

総務課長 当町では防災アプリ（住民安全さんとう）に約450人の方が登録をされている。ホームページやフェイスブック等を利用して登録をPRしていく。

大雨、土砂災害における避難勧告指示(緊急)の発令について

総務課長 「避難勧告等」はこれまで全町一斉に発令していたが、今後は、適宜適切な避難行動につながるよう、対象区域を絞り込んで発令することを基本とする。

町内を6ヶ所に区分して、危険度に応じ、その周辺の区域も含めて発令する。

三輪議員・加藤議員 役場の職員だけで対応できるのか。指定管理者の協力が必要と考える。災害時は各避難所に全員収容できるのか。

総務課長 各避難所に3人の職員が駆けつけて、カギを開けるが、管理人の協力もお願いしていく。

当町では気象情報を外部に委託しているため、早めに町民に知らせ対応をしている。

町長 集落内でも安全な家屋等があるので、災害時には一時的な中継避難所としてお願いしておく必要がある。

第8回 8月21日

出雲崎総合戦略策定に関するアンケート調査結果について

総務課長 令和2年度開始の第2期総合戦略にあたり、今後の目標や具体的な施策の立案等、参考とするため調査を行った。

小黒議員 年代別・男女別など、どの程度までアンケートの結果をまとめるのか。

総務課長 総合戦略推進会議の委員の意見を聞いたうえで、検討していく。

加藤議員 19歳～50歳までの回答率が3割以下では参考にならないのでは。再度アンケートを取るべき。

総務課長 再度のアンケートは考えていない。

出雲崎産コシヒカリブランド米の名称募集について

産業観光課長 町では令和2年度から減農薬、減化学肥料などにこだわって生産する「出雲崎産コシヒカリ」の名称を募集する。どなたでも自由に応募できる。最終選定候補者10名以内に一人2万円分の商品券と新ブランド米10キロを呈する。

建設課長 住宅としてリフォームすれば十分住居可能で、町営住宅して貸し出すことにしたい。

寄附物件の空家利用について

小黒議員 町営住宅の空きもあるのに、なぜ790万円もかけてリフォームをやるのか。町外の方からの問い合わせがあったのか。

建設課長 尼瀬地区の景観を考慮しながら、建物として残したい。人に住んでもらうことが半分、景観の良い建物を残すことが半分である。

15年連続で居住してもらうと、無償譲渡となる。その後10年間は転売できない。家賃は1か月3万円と考えている。

町長 海岸地区では、空家が増加している現状で、尼瀬地内に必要な投資をする。現状を考えると、結果を求めながらの投資はできないと考える。今回はリフォームして前に進めて行くことにしたい。



中学校スクールバス 運行について

教育課長 スクールバスの乗用基準距離は、中学校は3km以上が対象者となる。該当する31名の保護者から全員アンケートを取り、24名の生徒の利用申し込みがあった。小学校と混乗とするため、集落の小学校のバス停を利用する。運行期間は12月1日から3月末までとしたい。
利用料金は無料。

三輪・加藤・小黒議員 夕暮れも早く、みぞれも降ってくる中、生徒の安心・安全のためもう少し早くからの利用をすべきと考えるが。
利用料金を負担してもらってはどうか。

教育課長 11月は降雪がないので、12月から運行を始めた。
利用料金は、今後中学校のスクールバス委員会の中で検討していく。

第9回 9月13日

2020年に創設する 専門人材を派遣する制度 活用について

加藤議員 「ふるさと応援人材派遣制度」で窓口を国が設置したが、災害、農業関係、イノシシ対策等に利用すべきで、早めにエントリーを望む。

総務課長 AI、ロボット、ドローン等、検討して当町に合うものがあれば進めていく。

町長 町でもドローンを導入したい。近年の様々の災害事件のために対応しなければならぬ。それにはオペレーター育成が大切となる。

デマンド交通について

高橋議員 4月からスタートしたデマンド交通の利用状況はどうか。デマンド交通の最終便を18時から20時に延長できないか。町内だけの運行を、和島のひらせい、西山のナルス、脇野町のバスターミナルまで拡大すれば、利用客の増加が見込まれるのではないかと。

総務課長 4月135人、5月167人、6月127人、7月140人、8月189人、合計758人の利用客があった。

また、子育て無料券・スタンプ券等を取り入れた。

町外への運行拡大について、運行事業者と検討中であり、合意が必要。今年度中に結論を出したい。

タイミングを見極めた 観光設備の改修について

加藤議員 観光シーズン中の案内看板の改修は、時期を考えて行うべきではないか。

産業観光課長 工事の内容や補助金のタイミングで工期がずれてしまった。今後は見極めて対応する。

公の施設（天領の里） 指定管理者の 選定について

産業観光課長 町では越後出雲崎天領の里の指定管理者を募集する。

指定期間を令和2年4月1日から5年間とし、一般公募とする。

小黒議員 レストラン陣やの営業時間を延長できないか。

産業観光課長 現行の営業時間は、午後5時となっているが今後、業者と協議の上決定

する。

加藤議員 地元産の魚と農産物を使ってほしい。

産業観光課長 できるだけ、地元産の新鮮な食材をレストランで使用してもらおうようにする。

三輪議員 指定管理者を選定するにあたり、イベントの実施を要望してほしい。

山田副町長 利益のみの追求だけでなく、道の駅ということを根本に考えてもらい、良いものは引継いでもらい、新しい感覚で道の駅の営業に携わってもらえるように選定していきたい。

出雲崎高校 2学級から1学級減 になることについて

中野議員 平成29年に県から2学級から1学級減になると報道されたが、なぜ今まで町長はアクションを起こさなかったのか。

町長 平成29年〜30年度の生徒数が、40人を割っているのが現状である。出雲崎高校

は、特殊性のある単位制高校なので、存続するために、町議会、町民と総力をあげて行動を起こす。

各議員からの意見

- ・ 特殊性のあるカラーを強く出すべき。
- ・ 空き家を利用して全国から募集し、特性のある高校にしてはどうか
- ・ 一人一人を丁寧に教えている出雲崎高校の良さのPR不足もある。
- ・ 町民との交流が薄れており、地域との関わりが少ない。

町長 頑張つてやる気のある生徒は町として全力で応援していく。
地域ぐるみで協力し、町民の力を結集して県に要望していく。



1



質問項目

1. 今後のイベント計画と実施について

小黒 博泰 議員 [13ページ](#)

2



質問項目

1. 防災と減災対策の強化について
2. 天領の里へバス路線延長を

三輪 正 議員 [14ページ](#)



一般質問 ~我が町政を問う~

4名の議員が質問

3



質問項目

1. 使用料について
2. 「まち・ひと・しごと」総合戦略について
3. 原子力災害対応、及び再稼働について

高橋 速円 議員 [15ページ](#)

4



質問項目

1. 自主防災の進め方について
2. 子育て支援や教育現場における人材の充実について

高桑 佳子 議員 [16ページ](#)



9月12日の一般質問にて、婦人会の方をはじめ多くの皆さんから傍聴していただきました。

今後のイベント計画と実施について



小黒 博泰 議員

町長

町民の参加が必要

今後のイベント計画の考えは

内容を検討し、

外部発信する

小黒 今年度、町の一大イベントであった汐風食堂、汐風ドリー夢カーニバルはなくなり、出雲崎おけさ全国大会も第30回を節目に最後の開催となった。

イベント開催は、出雲崎をPRする方法として一番必要で、観光人口の増加にも繋がると考える。町として、今後のイベント計画の考えを伺う。

町長 先日、「日本の祭りが大ピンチ、次々に中止」と言う番組報道があった。当町に於いても、色々なイベントを行ってきたが、ある程度目的を達成し、一過性なものである観点から、費用対効果等を考えた上で一部中止した。

出雲崎おけさ全国大会も改めて仕切り直し、内容を検討した中で、違う方法で継続を考えなければならぬと考える。今後のイベントを計

画・実施するにあたり、単に華やかでなく、小規模でも外部に即発信して、大勢の皆様に来て頂く様にアピールをして行かなければイベントの効果は無いと考える。



最後の出雲崎おけさ全国大会

具体的な計画はあるか

現時点ではない

小黒 現在、過去のイベント内容の問題点を検討していく考えであると答弁があった。現時点で、中止になったイベントに代わる具体的な計画や考えはあるか伺う。

町長 次のイベントのあり方については、「まち・ひと・しごと総合戦略」等での町民の意見を集約しながら、内部を挙げて的確に、効果の上が

るイベントを計画して行かなければと考える。

小黒 船まつりを例にすると、船団パレードが終わると人がいなくなる。ショーなど、お客さんが見ているだけの内容では滞在時間が短いと思う。お客さんが参加できるイベント企画が必要と考えるが。

町長 基本的には、町民の絆を高めることが必要である。町の行事には家族ぐるみで参加し、祭りを盛り上げ、賑わいが外に発信されて大勢の皆さんから来て頂くことが大事である。町民の皆さんに理解して頂いて、一人でも多く参加する事が基本と考える。

イベントに町民の意見を取入れる考えは

十分に取入れる

小黒 町民の参加が必要と言うが、イベントに興味が無ければ参加は少ないと思う。今後の計画に町民の意見を取入れる考えはあるか。

町長 十分に取入れる。町民の発案したイベントは育つ。行政主動だけではなく、町民が意欲的に行うものに対しては、全面的に応援する。

イベント実施の問題点はなにか

地域の課題は何かを

考える必要がある

小黒 イベント実施にあたって、何が一番の問題点であると考ええるか伺う。

町長 良寛、日本遺産などを地道ながらも、伝統を継承し経済効果を求めたい。地域の課題は何であるのかを考える必要がある。

小黒 今後の計画に若い人達の意見を十分に取入れて頂きたい。



今年の船まつり

防災と減災対策の強化を急げ



三輪 正 議員

町長

対策に万全を期す

【三輪】台風、大雨、地震などにより、毎年多くの被害が発生している。千葉県でも台風による強風により、長期停電など想定外の被害が発生している。

【三輪】台風、大雨、地震などにより、毎年多くの被害が発生している。千葉県でも台風による強風により、長期停電など想定外の被害が発生している。今後とも異常気象により、益々被害の増大が危惧される。そのため事前の防災、減災対策の重要性が今後一層増している。具体的には次の4点について町の対策を伺う。

避難所開設に問題はないか

【三輪】避難所開設で町職員の配置、備蓄品、避難者対策に問題はないか。

【町長】避難所開設は他市町村より、早めの対応をする。町民の生命を守る事を第一に今後とも万全の態勢であたる。

ため池の実態調査で危険防止を

【三輪】大雨による、ため池の氾濫や崩壊の危険性が問題となつていますが、当町のため池の実態把握と対策は行われているか。

【町長】町内のため池は57カ所。重点ため池として、県に大門と上小竹の2カ所を報告した。今後ともため池の調査を実施して危険防止に努める。

個人所有の井戸利用協定を

【三輪】災害時の生活用水（洗濯やトイレ等）の確保のため、個人所有の「井戸水」を調査し、事前に所有者と町で協定を結び、災害時の協力井戸に登録を進めるべきと考えるが。

【町長】上野山、相田など昔から知られた清水が

ある。個人の井戸利用について実施している他市町村で「問題が生じている」と聞いているが、水の確保は重要であるので検討する。

自主防災組織など協力的体制を

【三輪】自主防災組織など住民との連携が重要と考えるが、具合的にどうなっているか。

【町長】町などの公助のみでは限界である。積極的に地区、住民の協力的体制を進めていく。



町防災訓練(8/22)参加の中学生

天領の里へバス路線延長を

町長

路線延長は難しい

【三輪】観光立町を目指す当町において、観光拠点「天領の里」の賑わいは重要である。県外や長岡市のお客様の利便が悪く、自家用車以外は大変評判が悪いと聞く。前を通る柏崎線も一日3便で土日祝日などは運休である。

尼瀬地区は港もあり、「観光重点地区」である。観光振興と住民の交通確保のため、バス運業者と長岡駅線の路線延長を強く要望すべきと考えるが町長の考えを伺う。

【町長】残念ながら、バス路線の延長は困難である。



高橋 速円 議員

原発再稼働は慎重に!! 使用料は見直せ! そして総合戦略は地元への配慮拡充を!

町長

原発再稼働には慎重だ
使用料は現状でよい
総合戦略は人口減少への備えだ

原発は限りなくPAZではないか?

高橋 町の原発避難計画は現実的でない。PAZ(即時避難区域)とUPZ(避難準備区域)の括りという、出雲崎は柏崎刈羽原発からの距離から半径概ね5〜30キロ圏内のUPZに指定されている。半径5キロ以内がPAZで、10キロよつとの出雲崎はUPZというが風向きなど状況からみると限りなくPAZではないか。疑問を抱くが町長の認識を伺う。

気持ちとしては

限りなくPAZだ

町長 いま県は「三つの検証」中だがPAZ、UPZの範疇の中に関わってくると思う。その結果を待っているが気持ちとしては限りなく5キロ以内のPAZに入ると思っている。

現実的な避難計画を!

高橋 各家庭に平成28年作成の「原子力災害対応ガイドマップ」が配布されている。

これに記されている避難対応については全面緊急事態でも屋内退避を基本行動としている。しかしこれを町民が守るのか。目の前をシミュレーションによると7500台の避難するPAZの車が通るのをだまってみていられるか? 現実的な避難計画でなければ困る。

八手改善センターは

完璧だ

町長 町は八手改善センターを原子力災害への対処として完璧を期した。現実には避難計画は難しい。

再稼働は極めて慎重に!

高橋 原発への町民の

意識は近年たいへん変わったと認識している。再稼働については極めて慎重であるべきと思うがいかがか?

再稼働は

はつきり申し上げていく

町長 県と地元2市村だけで再稼働を決めていいのか、明確に申し上げている。

ガイドブックの備えに
入れ歯と眼鏡を!

高橋 日頃からの備えに入れ歯、眼鏡、薬を強調しておいてほしい。

使用料無料は見直せ!

高橋 使用料が近隣で無料であることは評価するが財政事情からみて見直すべきではないか。

安い宣伝費だ

町長 健康保持からみると投資としては安いとみている。

総合戦略は
生粋の地元町民への
支援充実を!

高橋 「まち・ひと・しごと総合戦略」について、出雲崎に住み続けている皆さんへの支援の年齢を拡げ、助成対象項目を緩和し家庭の奥さん方が助かる応援策ができないか?

しっかりと検討する

町長 基本的には人口減少にどう備えるか、自然減をいかに食い止めるかだ。軽々に答弁できないがしっかりと検討し反映したい。



地域防災の進め方について



高桑 佳子 議員

町長

各集落で検討いただき 避難家屋等を確認する

高桑 7月の全員協議会において、各集落内で中継避難所となりうる家屋を確認し、地域で行動することを考えて行くという話があった。いつ起こるか分からない災害に對して、早急に対応すべきと考えるが、いつまでものように進めるのか。また、地域住民の自助・共助を進めるためには、それに加えて、仲間意識の醸成や防災に対する意識を高めることが重要と思う。その方策をどのように考えていくか。

町長 各集落内で安全地帯、安全な家屋を確認して、必ず避難していただく事を考えていく。集会所が安全であるとは限らず、身近にある安全な場所に、まず避難していただく事を進めていく。早急に区長会議においてお願いし、各集落内で防災について話し合っただくよう依頼する。

高桑 女性の消防団への入団がある。大変喜ばしいことだが、体制を整えて募集をかけた他町村とは状況が異なり、当町においては初めてのことである。予防広報や高齢者宅の訪問、救急救命講習など、女性が活躍できるフィールドは多いと考えるが、受け入れる環境は十分か。今まで経験がないことを進めるわけだが、さらに募集を進めて、女性団員の意見を十分に引き出し、活動を広げられる環境を整備すべきではないか。

町長 消防団員の確保が厳しいなかで、女性から入団の申込みがあり、大変有難く思う。現在、消防団の幹部会議において、入団後の所属、活動内容、今後の女性消防団の募集の考え方等について協議しており、決定していきたい。入団される方のご意思はしっかり受け止めていく。お二人の活動を通じて、ぜひ輪を広げていってほしい。

子育て支援現場での人材確保について

町長 他町村も人出不足で難しい

高桑 学校の夏期休暇中、公的な子どもたちの居場所としての児童クラブや町民プール等では、見守る側の人材確保が難しくなったと聞いている。安全第一な場だが、町内だけで人材を確保するのは、これから難しいのではないかと。長岡市では、長期期間中、教育補助員・介助員の雇用は一旦切れるため、休暇中に他の仕事をする方もいる。行政から働きかけて、連携を取ることができないか。

町長 子どもたちが公的な場所で安心安全に過ごせることは健全育成に重要な事業と認識している。見守り側の人材確保は継続的な就労を前提とすることが重要と考えている。一定の資質の備わった人材の確保を図り、働ける環境作りが必要である。近隣市の児童クラブはどれも人材確保に苦労しているのが現状であり、柏崎市からは人材のやりとりは難しいが、広域での支援員の人材バンク等、お互いメリットが生まれるようなことがあれば、協力したいとの回答があった。

当町として、継続的な就労のための待遇改善等を検討していきたい。

高桑 子どもたちの一番近くで支援をする方々の資質向上を図るための研修等はどう行われているか。1町1小中学校で、他校との有益な情報交換の場が少ないのではないかと。

町長 確かな資質向上は不可欠であり、今年度、全職員の合同研修は5回、他に介助員対象とした研修・講義等も行った。多様化複雑化する現場で対応するために、これからの研修のあり方を検討し、研修を重ねていきたい。

行政視察報告



9/26

北海道 知内町
しりうちちよう

一次産業の担い手不足解消に向けた
取り組み及びバイオマス事業について

町の概要

知内町は、北海道の渡島半島南西部に位置し、青函トンネル出入り口で、函館市まで約40kmの町である。8月末現在で人口は4,325人、世帯数2,074世帯、面積約197km²である。山林が約81%を占めていることから、森林バイオマスの発生が大きく期待でき、北島三郎の故郷の町でもある。

研修内容

地域産業の担い手確保と、地域材利用・木質バイオマス事業の取組について説明を受けた。

地域産業の担い手確保は、平成28年度に「知内町林業担い手確保推進協議会」を設立し、2カ年計画で全道のモデル地区として活動。平成30年度から、全産業へ拡大して「知内町地域産業担い手対策連絡協議会」を設立した。

町長による高校生への地域産業PR講話、インターネットシップ実施、移住定住イベント

ト参加、マスコミとの連携などについて説明を受けた。また、全国初のカラマツCTL（直交集成板）住宅の、「しりうち地域産業担い手センター」（研修・宿泊施設）の視察を行った。

バイオマス事業は、森林資源の循環利用が重要と考え、不用木材をチップにし、バイオマスボイラーで役場・子ども交流センター・中央公民館・スポーツセンターの暖房、町民プールの温水化に活用していた。維持管理コストの縮減、温室効果ガスの削減にも努めている。

所見

「地材地消」「地材地生」の考えの基で、前向きな施策を行っているよう感じた。福祉・教育・子育てなどの施策も大事であるが、地域産業の発展による、移住・定住者確保も重要である事を勉強させて頂いた。
(小黒博泰)

9/26

北海道 福島町
ふくしまちよう

町民・議会・行政が協働して政策の実現と
議会・議員の評価制度について

町の概要

福島町は南は津軽海峡、北は大千軒岳に囲まれた面積が187・2km²、人口は4,591人で、自然豊かな町である。また、横綱千代の山と千代の富士を生んだ「横綱の里」としても有名である。

町の主な産業は漁業で、全国最大の生産量の「スルメ」と「真昆布」が特に有名な町である。

研修内容

平成17年度に導入された、「議会評価制度」及び「議員自己評価制度」は当時、全国初の議会版政策評価システムとして、議員がそれぞれ「行政」「財政」「教育」「福祉」「その他」の5分野ごとに政策課題を掲げ「取組み」と「結果」について三段階で自己評価して公表している。

また、夜間議会の開催や、全ての会議を原則公開をしたり、ライブ中継・動画配信をし、スマートフォンでの録画配信している。

当町でもインターネットによる議会ライブ中継と、録画配信をやるべきと提言された。



所見

さすが全国から議会の視察があると聞き納得した。議会と議員の皆様の質の高さで町民のために努力されていた。

町民の厳しい目がいつも議員に向けられている事や、自己評価が公表されるため、毎日が大変である。私も福島町の議員に追いつくための努力が必要であると感じた。
(安達一雄)

技

術革新の進展がとて
も早く、インターネットやスマートフォンの登場で社会の仕組みを大きく変えつつあるのを実感しています。

世界中のすごい人たちが私たちの知らないうちに新しい技術を開発し、勝手に世の中を変えてしまっています。

なので老若男女できる
だけ多くの情報に接して
ほしいです。簡単です。

しかしそれだけではだ

めです。これからはそう
やって仕入れた情報を自
分の頭で考えていくクセ
をつけないといけません。

そんな時代は終わりに近
づいています。

十年前、家や街でこれ
だけ多くの人がスマート
フォンをいじっているの
を誰も想像していません
でした。

人間関係や家族制度も
変化し、今の常識が十年

後二十年後全く通用しな
い可能性が非常に高いで
す。

明るくとも厳しい未来
がある出雲崎町で、強く
生きる工夫が大事です。

全て町に補助してもら
う、議会に助けを求めら
だけではなく、情報を集
め、自分で考え自分で行
動する力を、一人一人が
身につけてほしいと願う
町民の独り言です。

困った時は集い、酒で
も飲みましょう



みんなの声

未来への心がけ

松本

小林 亜玲

こばやし あれい



表紙の小話

土砂災害を想定した総合防
災訓練が8月22日、五か字地区
で行われ、地区住民と出雲崎中
学校の生徒、出雲崎町防災士会
等、約110名が参加しました。

地区住民の避難から始まり、
中学生の避難所設営訓練では
炊き出しも行われ、豚汁と非常
食のご飯をみんなでおいしく
いただきました。

午後からは、大変わかりやす
く必要性を説明した防災DV
Dを視聴した後、防災士会によ
る普通救命講習を実施しまし
た。生徒たちは、恥ずかしさも
あると思うのに、大きな声で
堂々と実践していて、とても頼
もしかったです。

先般、ある会で「出雲崎町で
は、中学生が参加して避難訓練
をやっています。」と、紹介し
たところ、「大変すばらしい。
ぜひうちの町でもやりたい。」
と高く評価されました。

こうした活動が地域に根付
いて、みんなが災害に強い町づ
くりをしていきたいものです。

(高桑佳子)

編集後記

今年の夏は、猛暑日の連
続で、作物の管理にも、毎
日の体調管理にも、大変な
思いをされた事と思います。
9月定例会において、決算
審査特別委員会が、30年度
の決算審査を行い、町に対
して13項目の意見を付して、
決算認定しました。2つの
分科会での報告を御覧頂き、
議会に対して率直な意見をお
聞かせください。

これからも、町民の皆様
に内容のある記事で、行政
や議会の動きを紹介しま
います。(安達一雄)



議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 安達一雄
委員 中野勝正
委員 三輪正
委員 小黒博泰

議会だより発行予定

発行は年4回。発行日は4月23日・7月25日・10月23日・1月23日です。

議会の傍聴にぜひおいでください。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 仙海直樹 編集/議会報特別委員会 題字/南波秋海 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>